

# 令和7年度いじめ問題解決に向けた藤岡市立藤岡第二小学校の取組

## 1. いじめ問題解決に向けた私たちの取組

「思いやりの輪を広げよう～ひよこはやさしい～」

## 2. 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

藤岡第二小学校では、今年度のいじめ防止テーマである「自分たちの行動で安心安全な環境をつくり、いつも気持ちのこもった行動ができるように」するために、いじめ撲滅宣言行動目標の中の①②③を重要課題に挙げて、「スマイルハイタッチ運動」や「心に咲く花（HAPPYはあとふるツリー）」などの取組を実践してきました。加えて、児童会が中心になり、児童集会を企画・実施し、「全校クイズ大会」や「知りたい！みんなのこと！活動」を行いました。これらの取組を通して、自分たちで安心安全な環境を作ろうとする姿勢を養おうと考えました。

## 2. 共通の取組

### （1）スマイルハイタッチあいさつ運動

「コミュニケーションはあいさつから始まる」と児童会で話し合い、明るい気持ちであいさつできるよう、「笑顔」「明るい声」「楽しくハイタッチ」を目標に行いました。ハイタッチが苦手な子や、引っ込み思案な児童でも、楽しんで参加できるように、日によってひじタッチやグータッチなどハイタッチの種類を変えながら、気持ちよくあいさつ運動を行いました。



### （2）心に咲く花（HAPPYはあとふるツリー）

「心に咲く花」活動では、自分の良いところや、こんな自分を目指したいという理想像を花の中心に書き、それを囲む花びらには、友達から自分の良いところを書いてもらいました。自分の良いところを書く場面では、なかなか思い浮かばずに悩む児童もいましたが、活動が終われば、たくさんの友達が自分の良いところを書いてくれたのを見て、自分の良さに気づき、自己肯定感を高めることができました。最後は、大きな木が描かれた模造紙に一人一人の花を貼ることで、友達の良さを認め、お互いを高めあう良い機会になりました。



### (3) いじめ防止スローガンの活用

ほんの些細な言葉の受け取り方のちがいから、友達同士ですれちがってしまい、いじめにつながってしまう事例をもとに、「どうすればトラブルを未然に防げるか」を真剣に考え、以下のスローガンを作成しました。合言葉は「ひよこはやさしい」です。これはいじめを防止するために、また困っている友達を見つけるために大切だと思うことの頭文字をつなげたもので、それぞれ「表情、様子、行動、話しかける、やさしくする、察してあげる、しらんぷりしない、言うてみる」の頭文字です。今年度も、継続してこのスローガンを児童集会や掲示物で全校に周知し、いじめ防止につながるよう活動に取り組みました。



## 4. 私たちの取組

(1) ふれあい週間 (オープニング、ぼくの人権宣言、心に咲く花、人権標語)

「ふれあい週間」という人権週間に、全校や学年で友達とのよりよい関わり方について考え、実践していけるよう取組を行いました。校長講話や代表委員会や JRC 委員会の呼びかけを通して、人権とは何か、人と人との関わり合いや繋がりについて考えを深めました。



この「ふれあい週間」の期間中、毎日振り返りシートを用いて、自分の行動や他者への接し方を「おはよう」「ごめんね」「ありがとう」「自分の宣言」の観点で振り返りました。最初は、「もう少し」の項目が多かった児童も、毎日の振り返りを通して、どのように相手と関わったらよいのか意識して生活できるようになってきました。また、この期間に全校児童が人権標語を作成しました。児童一人一人が

友達と仲良くするためにはどうしたらよいかを考え、自分の言葉で標語にしていました。ふれあい週間のオープニング集会では、学級代表の児童の人権標語の発表も行い、代表者の人権標語は、いつでも誰でも目にすることできるように玄関に掲示しました。

## (2) 児童集会 (全2回)

いじめ防止活動として、活動のアイデアから代表委員会が企画した児童集会を全2回行いました。

1回目は代表委員会が考えた「〇×クイズ」を全校で行いました。簡単な問題から難しい問題まで、全校児童が〇か×かを考えて参加しました。学年を超えて、全校でひとつのことに取り組むことを通して、この場にいる全員が藤岡第二小学校の一員であるという意識を養うことができました。

2回目は、まず「猛獣狩りゲーム」を行いました。「一つのグループに複数の学年の児童が必ず入る」「必ず毎回違う友達とグループを組めるようにする」などのルールを付け加えることで、全校がくまなく交流できるように工夫しました。その後、猛獣狩りで作られた5人グループを利用して、「知りたい!みんなのこと!」という自己紹介活動を行いました。この自己紹介では、クラスや名前だけでなく、代表委員会が用意したテーマに合わせて自己紹介をしていくというものです。「好きな食べ物は?」



などの簡単なものから、「一生に一度は必ず行きたいところは?」など、一人一人の個性が表れるようなテーマを用意することを通して、より深く友達のことを知るきっかけとなりました。

## 5. 取組のまとめ

### (1) 取組の成果

児童集会をはじめ、これまでよりもさらに児童が中心となって、活動を実践することができました。スマイルハイタッチ運動などを企画する際は、あいさつにおいて重要なものと考え、よりよい活動にするために主体的な活動を考えることができました。「スマイルハイタッチ運動」や「心に咲く花」を含む「ふれあい週間」の実施や、児童集会などを通して、学校全体に活気をもたらし、温かい雰囲気をつくることができました。

年度末には、いじめ防止子ども会議の内容を踏まえ、いじめ防止につなげるために大切な心構えを劇で表現した動画を全校に放送しました。その中で、来年度に重点を置きたい活動も示しました。その思いや活動案を、来年度の代表委員会がしっかりと引き継ぎ、さらに発展的な活動ができるように期待しています。

### (2) 今後の課題

藤岡第二小学校では、児童会が中心となっていじめ問題解決に向けた取組を進めてきました。今年度は、ふれあい週間において JRC 委員会と連携することができましたが、その他の各委員会とも連携・協力し、いじめ防止に向けた活動ができないかを考えることが課題として残りました。

# いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立藤岡第二小学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	・児童生徒にSOSを出すことの勇氣について話す。
5月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	
6月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・スマイルハイタッチあいさつ運動 ・第1回児童集会「全校〇×クイズ」	・小小、小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
7月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・長期休業前の児童会発表の中で、ネットいじめ防止行動目標アクション3+を活用	・児童生徒にSOSを出すことの勇氣について話す。 ・第1回ハイパーQUテストの実施
8月		
9月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加	
10月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	小中、地域でのスマイルハイタッチあいさつ運動
11月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	・いじめ問題解決に向けた教育講演会
12月	・人権週間『ふれあい週間』の実施 ・「心に咲く花」の実施 ・人権を扱った道徳の授業の実践 ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・第2回児童集会「全校名刺交換」 ・長期休業前の児童会発表	・長期休業に向けて、北連携型小中一貫校生活の決まりについての全体指導 ・第2回ハイパーQUアンケートの実施
1月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催	
2月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査)	
3月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・いじめ防止子ども会議を踏まえたいじめ防止への心構え啓発動画視聴	